

お店の手描きPOP写真に撮って送ってください♪

《募集要項》

募集作品内容 <テーマ>

- ①ひな祭り
- ②春のPOP [例:フレッシャーズ 入・進学おめでとう他]

注意事項

- ・制作方法は手描きに限ります。
- ・オリジナルの未発表作品ないし、過去に発表した作品可能です。
- ・応募者は応募作品の制作者であること、また応募作品の著作権を完全に保有していることを条件とします。
- ・投稿作品の著作権並びに被写体の持つ諸権利（特に肖像権）に関する、当協会は一切の責任を負いかねます。
- ・数制限はありません。
- ・公序良俗に反する画像や文章の投稿はかたくお断りいたします。

応募資格

- ・応募されるPOP広告は、応募者本人が制作し、また応募作品の著作権を完全に保有しているものを応募してください。
 - ・応募者の年齢・国籍は問いませんが、日本国内在住で日本語による応募に限ります。
- （※会員様の投稿はご遠慮くださいますようお願い致します）

応募受付期間 平成24年4月30日締め切り（消印有効）

受賞発表 平成24年5月31日

当協会のホームページで発表致します。

賞品発送をもって受賞発表とさせていただきます。

賞 賞品《10名様》“消せる紙”ブラックボードペーパー A4判（4枚入り）セット

著作権 応募された作品の著作権は応募者に帰属します。

ただし、応募された作品は、当ウェブサイト上の他、各コンテスト応募概要に準ずる展示会場および雑誌・ウェブサイト等の他媒体に掲載されることがございますので、あらかじめご了承の上、応募をお願いします。なお、他媒体に掲載などをする場合、原則的に個別のご連絡は行いません。

作品の返却 応募作品、応募データは一切返却いたしません。

宛先
問い合わせ先

一般社団法人日本POPサミット協会
〒343-0806 埼玉県越谷市宮本町2丁目109番地

応募方法

【データによる応募について】

- ・スキャナしたもの、写真撮影したもの、どちらでも結構です。（注意）店舗での写真撮影はできるだけPOPを画面いっぱいに大きく撮ってください。
- ・デジタルカメラで撮影した写真又はスキャンしたデジタルデータ(jpg)をEメールで送信してください。
- ・ファイルフォーマットは、JPEG（拡張子[.jpg][.JPG]）フォーマットに限らせていただきます。
- ・画像サイズは、1024×768ピクセル以内でお願いします。
- ・ファイルサイズ（容量）は、1MB（1,024KB）以内でお願いします。
- ・カメラ付き携帯電話で撮影した写真でも規定の画像サイズであればご応募いただけます。
但し、待受画面サイズなど小さいサイズで撮影した写真は、きめの粗い画像になってしまい、せっかくご応募いただいたとしても、掲載することができません。

- ◆応募のメールアドレスはこちら。（E-mail info@jpopsa.info）
※5MB以上のファイルで応募される場合は CDでの送付も受け付けます。
- ・メールの表題を「コンテスト応募」としてください。
- ・画像ファイル名は「テーマ名・制作者名(提出者名)」としてください。

【郵送による応募について】

- ・A4サイズで制作した手描きPOP広告作品（カラーコピー不可）
- ・折曲げ厳禁

どちらの方もご記載ください

1. テーマ
2. 氏名（フリガナ）
3. ハンドルネーム※
4. 郵便番号・住所
5. 電話番号・FAX番号
6. メールアドレス

【データの方】は
メール本文に
【郵送の方】は
作品の裏面に
左記内容を
必ずご記載
ください。

※ハンドルネームを使用する場合も本名は必ず記入してください。
また、ハンドルネームの記載がない場合は、本名を掲載させていただきます。

TEL 080-1564-5946 FAX 048-963-6377
E-mail info@jpopsa.info

第15回 POPサミットin東京スカイツリー POP最大全国クリエイタービッグ集合、盛況に開幕！ 全国クリエイターが参集し、盛大に開幕しました！



任意団体から一般社団法人に！
新会長から出される事業計画や方針に真剣な
表情で聞きいる会員クリエイター。一般社団
法人化初の総会が開催されました。



（株）マインドシステム代表取締役・原田俊夫氏
によってデジタルサイネージの説明が行われ
ました。プロのPOPデザインが端末から簡
単に取り出せ、集客アップとなる…興味深い
講演でした。

カラーコーディネーションから観る店舗イメ
ージ説明に一様頷いていました。何気なく見
てしまっている店舗も、「そうだったんだ」と
納得するモノがあり、色彩指導者・足立尚子
氏ならではの視点はするどい！

ご参加ありがとうございました。来年もお待ちしております。

販促情報をあなたに…



発行元

一般社団法人 日本POPサミット協会

TEL 080-1564-5946 FAX 084-963-6377

ホームページ <http://www.jpopsa.info>

E-mail info@jpopsa.info

2012年新春号



小売業の役割とは

社団法人 公開経営指導協会
常任理事 村岡敏郎氏



勇気と想像力の 新年を！

会長 安達 昌人

昨年末に、札幌市に本社を置くTホームセンターに伺いました。同社は、北海道と青森県内に現在45店舗を展開しており、その特色は、奥尻島などの離島をはじめ商圏人口1万人以下の小商圏の中で事業を行っていることです。経営理念として、「商業過疎地域においても普段使う品が全て揃う便利を届けます」ということを掲げています。

同社の責任者の方にお話を伺ったところ、最近、この過疎地域である商圏から食品スーパーの撤退が相次ぎ、その地域に住んでいる人たちにとって生命線である食品を買うことができなくなってしまったというのです。そこで、地域住民の方々からは、本業がホームセンターであるT社でも食品を販売してもらえるようにしてほしい、との要望が出されました。

検討した結果、住民の要望に応えるかたちで、現在は9店舗で生鮮食品を扱うようになったそうです。お客様からは、「毎日、安心して暮らせる」と大変喜んでいただいているとのことでした。

今後、日本中の各地域で、都市と地方との「格差」の問題や本格的な「高齢化」の問題等が今以上に顕在化されてきます。そのような社会変化の中で、「小売業の役割は何か」と申せば、当会が提唱している『購買代理人』がその社会的使命であり、また、以前からひろく言われているように、やはり『環境対応』ではないかと思われます。

先ほどのTホームセンターの話を伺うと、採算の問題はもちろんありますが、地域と共に歩む、そんな小売業が今一番求められているのではないかと実感いたしました。

新しい年を迎える会員の皆様には、それぞれの抱負を胸にスタートを切られたことと思います。新年は心機一転の好機。頂いた年賀状にも、仕事や生活の今年の方針を表明される人が多いようです。

私事で恐縮ですが、私は年賀状に、浅草寺の「金龍の舞」のイラストを描きました。金龍の舞とは、昭和20（1945年）年の東京大空襲によって浅草の街が壊滅し、浅草寺も大部分の伽藍を消失ましたが、昭和33年（1958年）に本堂が再建されたのを記念して創始奉納された寺舞です。

浅草寺（山号は「金龍山」）の金龍は年に3回、長さ約18メートル、重さ約88キロ、8名が操作して勇壮華麗に舞われます。庶民の寺である浅草寺は、まさに浅草のシンボルであり、本堂は地元民の復興の祈願が叶ったものといわれます。いつの時代にあっても、被災した人たちにとって、「復興」は大きな願望ですね。私も、金龍の舞に「復興」の気持ちを託した次第です。

さて、映画「独裁者」などで著名なチャップリンは、名言の達人といわれますが、中でもよく知られた名言が「人生に必要なものは、勇気と想像力とほんの少しのお金だ」という台詞。晩年の映画「ライムライト」の中で、老いた道化師カルヴェロが、足がマヒして生きる希望を失っている踊り子テリーを励ます言葉です。「頑張れ」とか「努力しなさい」ではなく、「勇気と想像力」というところが、いかにもチャップリンらしい。勇気とイマジネーションは、チャップリンの仕事と生活の第一の信条だったのでしよう。

私たちは皆、クリエイティブな仕事をしています。その際に必要なのが、勇気と、特に想像力だと思います。想像力を失うと、仕事はマンネリ化します。今年は、想像力を武器として、活動しようではありませんか。

注目を浴びる
理由…そこには
『手て創る』という
キーワードが！?

地元TVに取り上げられました!

- NHK大阪「くると関西あひるまえ」
- NHK奈良「ならナビ」に出演しました！
- 奈良 豊田うらら

いきさつは…

本当に突然でした… 昨年11月のある日、一本の電話がかかってきました。はじめは「新聞社」と思い、ちょっとした記事だろうと…。ところが、「え？ 取材って？ 放送って？ NHKですか？ なぜ、私に？」 「奈良の仏像を描かれていますよね」「はい、まあ…」 「地元のいろんなところでアート活動をしていらっしゃいますよね？」「はい、まあ…」 私のHPを見てくださって「地元で元気に活動している人」のコーナーに出ていただきたいので取材させていただけないでしょうか？…と。…そうだ、チョークアートの出来不出来ではなく大好きな地元・奈良での活動を知ってもらおう！とOKさせていただきました。



午前中、作品撮影を狭い自宅で済ませ、お昼からは香芝市の福祉老人ホームへ移動。指で描くチョークアートは脳を刺激して、とても良い手作業です！ ここでは「奈良のパンピちゃん」をホームの皆さんに描いていただきました。新しいアートを楽しんでいただけたようよかったです！ いやあ、緊張… インタビューに答えるってほんとむつかしい！ 視線も定まらず、話しながら無意識に襟元のマイクを手で叩いてしまったり、同じことばっかり言ってしまったり、NG連発…

打合せ時点で「あの～なら局のキャラクターを描いてもらうことはできますか？」と言われ、アナウンサーさんの名刺に印刷されている小さな小さな「ななみちゃん」を描くことになりました。その「ななみちゃん」は仏像っぽくしぶ～い茶&グレーでしたが、そこはせっかくのチョークアート！ 自然色グリーンとらほつ(髪)のピンクでカラフルにしゃいましたよ！ 可愛く映っていて感激！ 今はNHK奈良放送局受付でお出迎えしてくれてるはず…です。



この作品がコトの始まり!?



取材中に説明しながら一部制作し、その後仕上げて(塗りは約1時間半)完成品はスタジオで紹介されました。

ラッピングは販売促進だよね！? ラッピングには、大きく捉えて3通りの道があると考えられる。1つはプライベートで楽しむ道、2つ目には資格優先に講師を育てる道、3つ目には販売促進として活用する道、である。POP広告を基軸にラッピング業界に入った筆者は、3つ目の道を主体に前者(1・2)も仕事にしている。それぞれ講習するにしても受講者がまるで違ってくる。1・2は文化教室やプライベート講習などが主で、後者は小売業や企業が主体となっている。

10年来続いている桐生市(群馬県)職業訓練センターの講習では、当初手描きPOP広告講習の依頼であったが、(プラス)POP広告クリエイター資格取得→(プラス)パソコンPOP→(プラス)陳列→(プラス)ラッピングと内容がドンドン充実され、それに合わせるかのように(?)商店や企業からの受講者が占めてきた。受講者構成がすっかり変わったのである。ちなみに一昨年のラッピング講習では新聞社2社の取材を受けたが、昨年はなんと、地元群馬テレビの18時と21時30分のゴールデンタイムのニュースで放映され、5社の新聞掲載と超驚きの人気ぶりだった。

ラッピングが趣味の域を超えて、販促として小売店や企業の売上に反映できるところが求められてきているのだと感じた。ギフトなどの販促ツールや陳列に利用することでお客様と心の絆を結ぶことが出来る大きな役割がラッピングにはあるのだ。



▲「東京新聞」
2011年12月20付



POP STEP JUMP!

ちょっと工夫で バッカリPOP

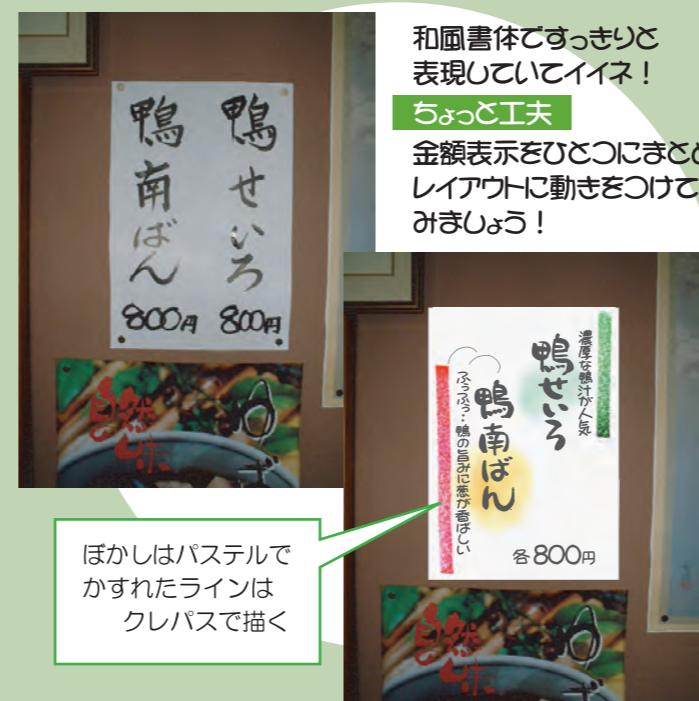


金額がとても大きく目立っていてイイネ！
ちょっと工夫
『決算特価』をもっとアピールするため赤い色紙に白色マーカーで描いてから取り付けてみまじょ！



POPの制作は苦手と思っている方もまずはひとまず自由に完成させましょう。それをじっくりと見て、ほんの少しでも「こうすればもっと…？」と感じたらちょっと工夫して再チャレンジ！ 2つを見比べるだけでレベルUPのコツが！?

1 白文字使って バッカリ！



ぼかしはパステルでかすれたラインはクレパスで描く

和風書体ですっきりと表現していくイイネ！
ちょっと工夫
金額表示をひとつにまとめてレイアウトに動きをつけてみまじょ！



ピンクの用紙に切り込みを入れて花や葉の形の色紙を挟み込むように貼る

やさしいピンクに＊模様があの花のイメージでイイネ！
ちょっと工夫
四角い用紙を自由にアレンジして華やかな花束のイメージをもっと表現してみまじょ！



ラッピング講習が群馬テレビのニュースで放映されるごとに新聞掲載されまいた！
理事 鐵倉れい子